

～子どもの睡眠を考える～

「木津川市子どもの睡眠リズム改善プロジェクト」報告会

近年、脳科学研究の進歩により、乳幼児期の睡眠が脳の発育・発達、成長後の学習意欲や学力に大きく関係していることが明らかになりました。一方、日本は世界で最も睡眠時間が短い国でもあります。

「果たして木津川市の子ども達の睡眠はどのような状況なんだろう？」ということ調べるために、2017年度から木津川市と同志社大学赤ちゃん学研究センターは、市内の保育園・こども園を対象に調査を始めました。今回は2年間の成果を報告させていただきます。

日時：2019年**3月10日**（日）

13：30～16：00（開場13：00）

会場：山城総合文化センター（アスピアやましろ）

定員300名 ※申込みは不要です

入場
無料

プログラム：第1部 ご挨拶 木津川市長

講演「子どもにとって良い眠りとは？」

熊本大学名誉教授

兵庫県立子どもの睡眠と発達医療

センター参与 三池 輝久

成果報告

第2部 パネルディスカッション

※登壇者は裏面をご覧ください。

託児あります。（未就学児のみ）
先着10名です。ご希望の方は
赤ちゃん学研究センターまで電話で
申し込んでください。



木津川市子どもの睡眠リズム改善プロジェクト
応援キャラクターまくらちゃん



お問合せ

同志社大学赤ちゃん学研究センター

〒619-0225

京都府木津川市木津川台4-1-1 快風館

[TEL] 0774-65-7496

[Email] suimin@akachan.doshisha.ac.jp

主催：木津川市／

同志社大学赤ちゃん学研究センター

後援：けいはんなリサーチコンプレックス

会場



京都府木津川市山城町平尾前田24番地

[TEL] 0774-86-5851 ※JR棚倉駅下車 徒歩5分

～子どもの睡眠を考える～

「木津川市子どもの睡眠リズム改善プロジェクト」報告会

登壇者プロフィール

講演

○ 熊本大学名誉教授 三池 輝久

兵庫県立子どもの睡眠と発達医療センター参与日本眠育推進協議会理事長
熊本大学医学部卒業 米国ウエスト・ヴァージニア州立大学留学、熊本大学医学部
附属病院長を経て30年間、子どもの睡眠障害の臨床および調査・研究活動に力を注
ぐ。著書に『子どもの夜ふかし 脳への脅威』など 小児科医、小児神経医

成果報告

○ 同志社大学赤ちゃん学研究センター 特任准教授 加藤 正晴

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了 東京女子医科大学助手、スウェーデ
ンウプサラ大学心理学部リサーチアソシエート、同志社大学心理学部准教授、NTT
コミュニケーション科学基礎研究所リサーチスペシャリスト等を経て2015年4月より
現職臨床発達心理士 木津川市子ども・子育て会議委員

パネルディスカッション

【パネリスト】

○ 八幡市立男山第三中学校教頭 山下 信之

○ 木津川市立保育園園長

○ 学研都市病院小児科部長（赤ちゃん学研究センター嘱託研究員）渡部 基信

三重大学医学部卒業 京都大学医学部附属病院勤務、福井赤十字病院勤務の後、京
都大学大学院医学研究科博士課程修了を経て現職日本小児科学会認定医 日本小児
科学会小児科専門医 臨床心理士 医学博士

【司会】

○ 赤ちゃん学研究センター特任助教 箕浦 有希久

関西学院大学にて博士（心理学）を取得 関西学院大学大学院研究科研究員と京都
大学こころの未来研究センター研究員の兼職を経て2017年11月より現職

【助言者等】

○ 木津川市健康福祉部次長 瀬戸 明美

○ 同志社大学赤ちゃん学研究センター長／教授 小西 行郎

日本赤ちゃん学会理事長 京都大学医学部卒業 福井医科大学小児科助教授、東京
女子医科大学乳児行動発達学講座教授を経て2008年10月より現職 2013年4月～
2017年3月 兵庫県立子どもの睡眠と発達医療センター長 著書に『赤ちゃんと脳科
学』、『はじまりは赤ちゃんから』など 小児科医、小児神経医